



# 久留米大学 商経同窓会々報

NO.36 2019.10.1



## TOPICS

会長挨拶	2
第一線インタビュー	6~9
支部だより	10~19
私の近況	20
OB会	21・22

## 第59回創元展「漁具」

創元会会員 川口 治彦  
(昭和42年卒)

趣味で始めた絵、25年になります。創元会に入会し、良き師、友人に恵まれ、これまで続けられた事を有難く思っております。試行錯誤の連続ですが、筆を持った時は年齢を忘れ、時間を忘れ没頭する事が出来る倅せに感謝しています。これからも老骨にムチ打って初歩のつもりで精進していく所存です。



# 新元号「令和」を迎えて

会長 江頭 義人(昭和42年卒)

大化に始まり平成まで改元247回、永年にわたり中国古来の文書から引用されていた日本の元号が、新元号「令和」を機に長く続いて来た殻を脱ぎ捨て、新しい視点に立って日本の国書「万葉集」から導き出されたことが新しい事であります。日本が他国の影響を排除し、そう言う意味では本当の独立国家になったと感じるとした国学者が多数居られる。私個人としては全身で喜びを表現している所です。なんでも世界一が記録されるギネスブックに記載されていて、更に皇紀で言えば令和元年は2679年目に当たるとされ、日本人にとって誇りであり、宝であります。しかし、残念ながら一部には「令和」の令は命令の令であると何でもかんでも難癖つける輩がいる。一歩下がって命令の「令」であることは認めたとして、それじゃ～敬意や敬意をもって使われている令嬢、令夫人などはどう説明しますか？また「令」を「つめたい」と感じた人は「令」と「冷」の違いを知らなかったのだろう。更には有名新聞社のお騒がせ記者マスコミの関係者が「令」は不吉であり、その後「和」が付くとなれば息苦しいなんて訳の分からないコメントを発信している。これって単なる難癖ではないのかな？しかし、調査によれば日本国民の80%以上の方が賛成であり喜ばしいと回答したそうです。救われた思いがします。幸いにも私の周りには素直に心から喜んでる人ばかりです。前出難癖つける者は物事を素直に喜ぶ心を持ち合わせて無く

て、寂しく悲しい日常を送っている人だろうと察し申し上げます。

さて、久留米大学創立90周年記念事業では会員の皆様からの多大なるご寄付は母校愛の精神が示されたものと感謝いたします。更には母校の最大の節目であることの100周年記念事業も着々と進んでおり、詳細については折に触れ会報などでお知らせすることになるとと思いますが、私自身100周年行事に立ち会うことは叶わないかもしれないけど、皆さんと一緒に喜びたいですね。我々、同窓会も一歩先、二歩先を見据えながら、幹事役員さんの協力を得ながら、確実に前へ進めて行かなければなりません。限界を感じることもしばしばですが、法学部・文学部・商経同窓会の役員の年齢層がグッと近づき一丸となって活動しやすくなるためには「老兵は去る者なり」を実践しなければならない。そのためには勇気を持って世代交代を図らなければならないと考えております。

## ●商学部創設50周年記念 奨学金規程改正について

標記、奨学金は「文系同窓会奨学金規程」に改正しました。文系学部(商学部、経済学部、法学部、文学部)卒のそれぞれの同窓会会員の子(孫含む)が文系学部(商学部、経済学部、法学部、文学部、人間健康学部)に入学した場合に適用されます。

なお、商経同窓会会員につきましては終身会費を納めた方に限ります。  
規則委員会

## 役員改選のお知らせ

来年4月に役員の任期満了日を迎えます。幹事希望の方は所定の推薦願(事務局にあります)を役員等推薦委員会へご提出いただきますようお願いいたします。なお、支部長と幹事もしくは支部長と代議員の推薦が必要です。幹事の支部配分率は商経同窓会幹事の支部配分率内規によります。審議の上、幹事として相応しい方を規定により推薦します。

■提出期限:令和2年2月28日(金)<1月15日(水)より受付>

■提出先:本部事務局(役員等推薦委員会)

○持参の場合/久留米大学御井学舎千歳会館1階事務局 平日10時~17時受付

○郵送の場合/〒839-8502 福岡県久留米市御井町1635番地千歳会館  
久留米大学商経同窓会役員等推薦委員会

■問合せ:本部事務局 TEL0942-44-2432 FAX0942-44-3846 syoukei@ktarn.or.jp

なお、正会員を前提とし、同窓会と大学の発展に貢献できる優良かつ善良な方、終身会費または3年にわたり年会費を納入した方、その他委員会が適当と認めた方に限ります。

令和元年10月1日 役員等推薦委員会

# 走って歩いて九州一周

10年近く前、私は商学部の中で最も不健康(メタボ)な教員でした。血糖値が危機的水準に到達し、ようやく真剣に体質改善に取り組むようになりました。糖尿病患者であった昔のゼミ生が医師の指導で「1日2時間歩く」習慣だったことになり、私もひたすら歩き、体重を減らしました。体が動くようになってからはマラソンに出場したりしましたが、努力や練習は大嫌いで続けられません。「楽しく走れる新しいルートを開拓しよう」と、休日に知らない土地に走りに行ったり、出張先で仕事の前後に走ってみたりしながら、九州各地を巡るようになりました。「ウルトラマラソンの練習」と称して1日50km以上を走る(歩く)ことを繰り返すうち、いつしか九州縦断・横断を終えていました。学部長になって同窓会支部総会に出席する際にも、前後の時間を利用して、大分、宮崎、長崎などで走りました。走り残した空白区間は休日に出かけて走りつなぎ、今年2月、ついに2100kmを超えるルートを走り繋ぎ、九州一周が完



商学部長 伊藤 祐

成しました。現地までのアクセス手段に困る区間も多く、本学に入学のある地域で「こんな遠くから入学してくれているのか」と感動することもありました。カツオマイスター検定を紹介されたり、武家屋敷を復元した宿に泊まるなどして各地のまちおこしを体験するとともに、各地で朽ちていくインフラや災害復旧の遅れを目にして辛い気持ちになったりもしました。まだ九州で知らないことがたくさんあります。これからもゆっくり各地を走り・歩いていきたいと思えます。



# 「建学の精神」に思う

久留米大学は九州医学専門学校から始まり、医学部と商学部の創設を経て、今日の総合大学としてその教育体制が拡充されてきました。そのいわば種にあたるのが「建学の精神」であり、本学にあっては医療の実務ニーズに応える人材育成から始まり、一貫して地域ニーズに応える形で受け継がれ、現在、建学の理念「実践的人材の育成」と社会貢献として謳われています。

さて、適正規模と範囲の経済という考え方がありますが、これを本学に当てはめると次のことがいえます。まず、苗床としての地域人口が20万人以上であることが、また大学の収容学生総数が6000人以上であることが、大学の安定的経営の要素である、という教育財政における研究成果があります。本学は、30万人超の久留米市において収容学生総数8000人超を育成しており、大学経営の条件として



経済学部長 世利 洋介

は恵まれた環境にあります。次に、範囲の経済とは、多様な要素が相互に補強しあうことをいいます。総合大学の強みは多様な学部展開であり、その展開の仕方によっては教育の質の一層の向上に繋がり、いわば教育における範囲の経済を発揮することが可能です。

今後の久留米大学の展望ですが、適正な規模を維持しながら、学部間の壁を超えて範囲の経済を実現していけるものと思われれます。またこうした努力を通して、建学の精神の果実を引き続き育成し、同窓生の皆様のご期待に応えていきたいと強く願っています。

## 平成31(令和元)年度

# 代議員会・ 定期総会を開催



平成31年度代議員会定期総会は4月20日(土)午前11時より学生会館ミーティングルームで開催されました。出席者92名で開会し、池田議長より

第1号議案 商学部創設50周年記念奨学金規程改正の件

第2号議案 平成30年度事業報告承認の件

第3号議案 平成30年度収支決算承認並びに監査報告の件

第4号議案 平成31年度事業計画案承認の件

第5号議案 平成31年度予算案承認の件

が進められ、いずれも可決承認されました。

### 会長挨拶(要旨)

こんにちは。会長として3年目になります。皆様には成果を示すことができておりませんが、ご勘弁下さい。更に努力を続けてまいりますので、よろしくお願いいたします。

本日は、遠方よりはるばるお越しの方もいらっしゃいます。ご多忙の中、時間を割いてお越しいただきありがとうございます。また、天候にも恵まれ、今日は5月下旬並みの気候ということですが、朝夕は肌寒くも感じますので、風邪などひかれませんようお気をつけ下さい。

これからも私は役員と共に同窓会のために頑張っておりますので、どうぞ引き続き、皆様も同窓会のためにご協力いただきたいと思います。

なお、本日は伊藤商学部長、世利経済学部長にもお越しいただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

### 伊藤商学部長挨拶(要旨)

皆様こんにちは。商学部長の伊藤と申します。このたび、2期目の商学部長を拝命いたしました。これから2年間、頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

卒業生の皆様におかれましてはいつも本学の活動にご支援ご協力いただきまして厚く御礼申し上げます。お陰様で昨年度、久留米大学は創設90周年行事を無事執り行うことができました。皆様方には寄付金をはじめ、多大なご協力を賜りありがとうございました。

近況報告ですが、まず入試につきましては、昨年度に引き続き好調であります。大学全体では3年前の受験者数が6,795人でしたが、今年度は10,350人と初めて1万人の大台を超えました。経済学部の受験者数は1,630人と前年比17.7%増、商学部の受験者数は1,289人と前年比20.5%増の伸びを記録しております。一般入試の競争率につきましても経済学部は前の年の2.1倍から2.5倍、商学部は2.5倍から3.0倍へとそれぞれ上昇しております。この好調さの背景には平成30年度以降、文系全体で入試改革を進めており、受験生が複数回受験できる機会を広げた本学の努力によるものもございまして。一方、文部科学省が大学定員超過率を厳しく指導していることで、国公立を含め上位校の難易度が今まで以上に上昇し、また2年後には入試の制度改革も控えております。これを心配している受験生、高校の進路指導の安全志向もあって、本学への追い風となっております。この追い風は少なくとも来年度、令和2年度入試まで続き、目先の受験者確保については心配ないと考えております。

一方、就職につきましても、景気の堅調、人手不足を背景に順調さが続いております。平成30年度卒業生の内定率は経済学部98.4%(-0.4PT)、商学部96.7%(+0.1PT)です。実質ベース、卒業生全体に対する就職率は経済学部90.0%(+0.3PT)、商学部88.8%(-1.8PT)です。近隣の有力な大学の中で就職決定率ナンバーワンが本学の目標ですが、これについては概ね達成できております。ただ、就職環境があまりにも恵まれすぎていることもあり、学生の就職への認識がやや甘くなっているようにも感じておりますので、厳しく指導して

いきたいと考えております。

ここで商学部単独のお話をさせていただきたいと思っております。商学部では独自の奨学金としてスカラシップ制度を4年前に導入いたしました。様々な入試区分の合格者のうち、上位数名の授業料を半額にする制度です。このスカラシップ制度で入学した学生が入学後、特待生になれば授業料負担ゼロで卒業することも可能となります。今年、この制度で過去最高の6名の入学があり、優秀な学生が入学する傾向が定着してきております。

そして、商学部は創設が1950年4月17日で、今年の入学生が第70期生となります。本来であれば今年の終わりか来年の初めに創設70周年事業を行うべきところではございますが、大学の90周年事業に寄付を行ってきたこともあり、正直なところお金の余裕がございません。また、創設60周年を終えた段階で、次の周年事業は75周年、つまり2025年に実施することを当時、決定しております。よって現段階では70周年事業を大々的に行う計画はございません。しかしながら、70周年を迎える商学部の歴史を対外的にアピールすることは重要でございますので、コストをかけない範囲で何らかの広報活動を行っていきたくて考えております。その際、皆様方にはあらためてご協力をお願いすることになるかもしれませんが、よろしく申し上げます。

再び大学全体のことでありますが、今後については厳しい見通しを申し上げておかなければなりません。先程申し上げた定員超過率管理の問題は本学にとっても重大で、かつて定員の1.3倍が標準だった時代がありました。平成30年度入試では定員の1.2倍が目標となり、今年度平成31年度入試では1.12倍を目標とし、その目標通りの入学者確保に成功しております。しかしながら、最終的には定員の1倍まで超過率を抑える、要するに超過率ゼロが求められる見通しです。これは大学にとっては収入の減少を意味するものです。対策として今年度入学者からは授業料の引き上げを行っております。それでも大学の収支は厳しい環境にございますので、文系キャンパスといたしましては支出を切り詰めつつ、より良い教育の充実を目指し努力していく所存でございます。既に教員の個人研究費については重点配分が行われ、多くの教員が研究費をカットされているのが実状であります。学生につきましても、自治活動に関連する学友会の支出もかなり見直しが進んでいると聞き及んでいます。この点、ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年度もこの場でお話しましたが、同窓会との係わりで商学部長として引き続き、今後とも働きかけていきたいことがございます。ひとつは卒業アルバムの購入問題です。名簿管理が厳しい時代になり、卒業生を繋ぐ一人一人が持つ情報として、卒業アルバムが特に同期意識を高める大変重要なものとなっております。在学生にはアルバム購入を推奨していきますが、周辺の他大学では委託徴収金の中で積立卒業アルバムを購入させている大学も少なくありません。これについては関係部署と引き続き交渉していくつもりでございます。また、大学として卒業生に対するサービスの充実についても引き続き、検討していきたいと考えております。残念ながら、昨年度議論した結果、卒業生へのメールアカウント付与については、当面目途がついておりません。しか

し、卒業生への連絡手段の強化も大切でございますので、就職キャリア支援課ともども改善を検討していく予定です。

最後に同窓会の皆様へ大学として期待し、お願いさせていただきたいことは、学生の就職支援のご協力、入学者確保のご協力、そして寄付金確保です。現役社会人の活動のプラットフォームとして、大学と同窓会が協力しながらサービスを充実させていくことは重要です。特に若い卒業生の活躍の支援におきましては、歴史の新しい他の学部の同窓会との協力も必要になってまいります。多くの支部におきまして、商経同窓会としてだけでなく、久留米大学同窓会としての活動を始めていただいていることに感謝申し上げますとともに今後の益々の発展を願っております。いくつかの支部では既にご相談しておりますが、現役学生が支部活動に参加できる仕組みや日程等考えていただければ助かります。それから今年度については実施困難ではありますが、来年度以降ホームカミングデーを継続的に実施していきたいと学内者からも要望が出ております。卒業生の皆様同士の交流、在学生との交流、そして教職員が様々な形で交流を深めていける環境を整備していきたいと思っております。

大変長くなりましたが、以上をもちまして商学部長の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

**世利経済学部長挨拶(要旨)**

今年、4月に経済学部長を拝命致しました世利でございます。当初、商学部教員として就任し、その後、商学部経済学科から、現在の経済学部が設置されると同時に移籍、今日に至っています。

商学部と経済学部に係ってきた教員として、両学部の合同の同窓会が開催されていること、大変うれしく思います。また会員皆様には、久留米大学にご支援を頂いていること、感謝申し上げます。

さて、久留米大学の取り組みは、地元メディアで取り上げられる機会も増えて参りました。代表的なものは、地元の多くの企業様に学生さんを受け入れて頂き、学生さんに実地体験をしてもらう「久留米・ちくご体験演習」、筑後川流域連携倶楽部での数多くの社会活動、地元名産を学生の視点で発信していく筑後川ブランドづくり、等があらうかと思っております。

また大学全体として「地域連携センター」を設置し、多くの地元企業様あるいは久留米市及び周辺自治体と協定を結び、インターンシップの受入れや寄付講座等のご提供を頂いております。また、教育委員会の協力を得て小中学校での教育プログラムに学生さんがコミットしていく機会も増え、マスコミでも取り上げられてきました。

さて、メディア報道といえば、私も、今回の知事選に絡んで財政についてコメントを求められてテレビに出ました。拝見された方からは、シミがある、白髪が多い、襟がゆがんでいる、と散々言われて、あまり気分は良くありませんでした。これにめげずに、久留米大学の良きアピールが出来るよう努力していきたいと思っております。

話は変わりますが、同窓会会報が定期的に発行されており、我々教員にも配布頂いています。これを読むたびに、嬉しく、また有難い気持ちになります。伊藤学部長がご紹介した商学部、経済学部の高い就職率、これを同窓会の皆さまに支えて頂いていること、インターンシップや地域活動で学生さんのお世話を頂いていること、卒業生の皆様が時に久留米大学を思い出してお仕事に頑張っておられること、後輩に対して暖かいメッセージを頂いていること、そしてなによりも、お元気で同窓会支部などで交流を持たれておられること、これら会報で伝えられることは、我々、教職員にとって、大きな励みとなっております。

さて、今後のことですが、大学間の競争は一層厳しくなっています。特に人口減少と国の財政が厳しい中において、文部科学省からは大学改革案が矢継ぎ早に提示されています。これを受けて、多くの大学が多くの時間を割いて、改革を進めています。この改革自体、重要ではありますが、より大事なことは、私立大学としてどれだけ地域での特徴を育てていけるかという点にあるかと感じています。

久留米大学は、医学部から発祥し、商学部も、経済学部も、地元地域の要請に何とか答えようとしてきましたし、卒業生の皆様もこれに答えようとしてくださり、同窓会会員の皆様から 陰に陽に大学をご支援頂いていること、こうした努力とご支援が、特徴ある大学として結実し、ここに至っていると感じています。同窓会の皆さまに応援頂いていること、このことは間違いなく、今後も本学の確かな強みとなっていかんと思っております。これからもご支援を引き続き、頂けますよう、宜しくお願い致します。

私事となりますが、新館が出来て嬉しく思っています。私の研究室は9階、この際体力を付けようと思ひ、エレベータを使わずに、階段で上がり降りしてしましたら、息は切れますし、足はつりますし、これを一週間も続けていますと、結局、体調を壊してしまいました。運動は、ほどほどにと反省しました。

最後になりますが、どうか皆様方へは、お体にくれぐれも気を付けて、いつまでもお元気で過ごし下さいますようお願いして、ご挨拶とさせていただきます。本日はこの機会を頂き、どうもありがとうございます。

**商経同窓会平成30年度決算・平成31(令和元)年度予算**

(単位:円)

借 方		31年度予算	30年度決算	
款	項			
事業費	寄付	0	0	
	学納金援助基金	0	0	
	旅費	1,850,000	1,962,849	
	奨学費	96,000	0	
	会議費	1,100,000	861,219	
	渉外費	50,000	49,440	
	支部対策費	1,200,000	1,731,650	
	印刷費	400,000	322,581	
	賃借料	0	0	
	会報費	3,500,000	3,165,771	
	補助費	1,500,000	873,000	
	会費	0	5,000	
	事務費	職員人件費	2,950,000	2,825,256
		社会保険料	500,000	458,827
通信運搬費		180,000	159,870	
消耗品費		60,000	55,526	
修繕費		30,000	0	
雑費		300,000	96,106	
備品費		200,000	83,916	
支払手数料		60,000	34,474	
積立金繰入		5,700,000	6,200,000	
基本金支出		200,000	200,000	
事業積立金支出		5,500,000	6,000,000	
学納金援助基金支出		0	0	
予備費		777,158	0	
小計		20,453,158	18,885,485	
次年度繰越金	0	3,048,158		
合計	20,453,158	21,933,643		

貸 方		31年度予算	30年度決算
款	項		
会費収入	人会金	16,800,000	17,910,000
	会費	150,000	171,000
	終身会費	375,000	420,000
	利息収入	40,000	38,056
雑費収入	預金利息	40,000	38,056
	雑収入	40,000	48,322
事業積立金取崩		0	0
	事業積立金戻入	0	0
小計		17,405,000	18,587,378
前年度繰越金		3,048,158	3,346,265
合計		20,453,158	21,933,643

**令和2年 代議員会・定期総会**

**お知らせ**

- 日時 令和2年4月25日(土) 午前11時
- 会場 久留米大学御井学舎 学生会館3階ミーティングルーム

久留米大学商経同窓会総務委員会  
〒839-8502 久留米市御井町1635番地  
syoukei@ktarn.or.jp  
TEL 0942-44-2432 FAX 0942-44-3846

※変更が生じた場合はホームページでお知らせします。

第一線インタビュー (56)

# 糸でつながる人と人

「頼まれごとは試されごと」を信念に  
久留米を東奔西走する忙しい毎日をお過ごしです。  
この日は大学カラーの緑色の久留米餅のスーツをお召でした。(原口)

株式会社西原糸店  
取締役 西原 健太  
(平成15年商学部50回卒)



## 学生時代とその後について

**広報委員**(以下、広)：まずは学生時代についてお伺いします。

**西原氏**(以下、西)：授業の合い間を縫ってアルバイトに精を出しました。ユニクロ久留米上津店で、ある程度のことを任せてもらい、商売の大変さと楽しさ、やりがいを実感しました。当時、売上日本一にもなり、柳井社長(当時)も度々店舗を訪れていました。学費以外の援助は一切しないというのが両親との約束でしたので、社会人並に仕事をしました。

**広**：卒業後はすぐにお家のお仕事に入ったのですか。

**西**：いいえ、久留米を離れ就職しました。呉服業です。学生時代に経験した海外大量生産の商品ではなく国内少量生産品であるため、同じ業種でも正反対の業界でしたが、それが大きな糧となりました。その後、西原糸店に入りました。学生時代は商売をしたいと考えてはいましたが、家業を継ぐことは考えていませんでした。その後、祖母母との約束で母と一緒にその使命に沿い、西原糸店に入り今に至ります。

## 現在の様子について

**広**：では、西原糸店についてお伺いします。

**西**：大正6年創業、今年で102周年を迎えました。私で5代目になります。曾祖父母が始めた西原商店は糸と繊維の卸売業でした。昭和20年の久留米大空襲では店が全焼しましたが、何とか再開することができ、昭和26年に株式会社西原糸店として法人化。その後、昭和28年の西日本水害で1階部分が浸水。それ



創業当時の写真

でも初代、2代目の必死の努力により3代目に引き継ぎのれんを守り続けてきました。その体験を忘れないよう「火攻め・水攻めに遭い、それでも守り続けたお店」と代々語り継がれています。

**広**：小売りも始めたきっかけは何でしょうか。

**西**：流通事情も変わり、祖父は業態の方向転換の必要性を感じていました。その意向を引き継ぎ、餅製品等の小売りを始めました。やはり、時代の流れで卸売りの需要が低下し、永くこの地で必要とされる店であり続けるためにどうすれば良いかと考えていました。

**広**：先代の意向を4代目、5代目が実行に移したということですね。

**西**：はい、そうです。小売りを始めたことで新しいお客様が増え始めましたが、地域の方にはまだ入りにくいお店でした。そこで始めたのが駄菓子屋です。私も小さい時には学



校から帰って、駄菓子屋さんに行くのが楽しみでした。今の子どもたちにも毎日のように楽しんでほしかったんです。餅製品を扱う店の一角に駄菓子屋をオープンすることで、地域の子どもたちが気軽に来てくれるようになりました。家族でも来てくれますので、今では地域の憩いの場となりました。

**広**：駄菓子を取り扱うことで餅などの販売品への影響はありませんか。

**西**：餅はやはりご年配の女性が興味あるもので、小さい子どもがいる若い親世代には縁遠いものだったと思います。子どもが駄菓子を選んでい

間に付き添ってきた若い親世代が紺の小物や洋服などを見てお買い上げいただくこともあります。若い世代にも紺の良さを知ってもらおうきっかけになっていると思います。



**今後の展開について**

**広**： 今後はどのような事業展開をお考えですか。

**西**： 紺は一般的にご年配の女性がターゲットになりますが、それ以外の層、男性に向けて私が着たかった紺のオーダーメイドスーツを作りました。男性の紺ファンも獲得していきたいです。



**広**： ここにあるスーツは艶があって絹のような感じがありませんね。

**西**： 横糸に加工を施し艶

を出してもらいました。一般的メーカーでは取り扱っていないようなものを提案していきます。既存の久留米紺商品の販売も継続し、オリジナル商品の開発、オーダーメイド商品の制作に力を入れていきます。そういう事業展開にも地元の方との繋がりが大切と考えています。地元企業とのコラボ商品も積極的に取り組んでいきます。

**後輩へのメッセージ**

**広**： 最後に後輩にメッセージをお願いします。

**西**： 久留米は大変恵まれたところです。特産品や工芸品もあり、伝統もあり、大きな工場もあり、商人の町でもあります。そして医療も充実し、自然があり、その恩恵を受けた環境がある子育てしやすい町です。学生時代にはそれらを知っていても実感することがないと思います。私もそうでした。でもそういう恵まれた所で学生時代を過ごしていることは忘れないでください。それが何かのきっかけになると思います。

私自身、社会人になってから、出身は久留米という話をすると、紺で有名な…と言われ、久留米の代名詞でもある紺を上手くPR出来ず、もどかしく思いました。身近なものを説明できなかつた。そ

れで紺の勉強を始めました。

「山は西からも東からでも登れる。自分が方向を変えれば新しい道はいくらでも開ける」これは、私が最も尊敬する一人で「経営の神様」とも言われた故松下幸之助氏の名言です。まずは目標を掲げ、その目標を達成するために視点を変え視野を広げてみてください。先入観や常識にとらわれて一つのやり方にこだわるのではなく、可能性のあることにたくさん挑戦して下さい。今は今しかありません。



西原氏 広報委員長 原口

**■経営方針・理念**

継続こそ使命なり、  
使命こそ原動力なり

**■会社概要**

会社名 株式会社西原糸店  
所在地 福岡県久留米市中央町35-1  
電話 0942-34-1861  
F A X 0942-34-1862  
U R L <https://nishihara-itoten.co.jp>  
創業 大正6年(1917年)  
従業員 4名  
事業内容 繊維製品の卸・小売  
久留米紺製品の企画・製造・販売  
取扱商品 各種ギフト・タオル(名入れ、オリジナルタオル作成)  
国内生産の駄菓子・こだわりの食

## 第一線インタビュー (57)

# ゼロからのスタート! 保険請求の プロを目指して!



学校法人久留米大学  
病院事務部医事課  
浦寺 貴章  
(平成25年経済学部16回卒)

## 大学時代

大学時代は準硬式野球部に所属し、野球と勉学を両立することを目指しました。学業では当時経済学部設置されていたスポーツトレーナー関連の授業を多く選択し、積極的に学び部活動にも生かしていきました。体の仕組み等に関しては現在の仕事にも生きています。大学からは優等生、特待生の表彰をいただきました。また、準硬式野球部ではリーグ戦での優勝や全国大会出場を経験させていただき、最終学年では副主将を務めました。

卒業前には全日本大学準硬式野球連盟より、優秀学生賞をいただきました。

## 卒業後&入社のきっかけ

地元の金融機関や企業を中心に就職活動を行い、たまたま目にした久留米大学職員の採用試験に応募しました。いくつかの内定先から久留米大学職員を選択し入社しました。

学校法人久留米大学の職員として、大学病院の医事課へ配属され、最初は戸惑いの連続でまさにゼロからのスタートでした。

## 現在の仕事内容

医事課は、病院収入の根幹である保険請求業務を行う部署です。病院を受診された際に、医療機関は基本的に3割を患者さんへ請求し、残り7割を保険者へ請求します。

その計算、請求をするのが主な仕事となります。私は入社してから現在まで入院患者さんの担当をしており、入院時から



退院までの計算や保険制度や医療費にかかる



相談、役所とのやり取り等まで、業務は多岐に渡ります。

特に、保険請求業務をする上で欠かせないの

が医療知識とコミュニケーションです。

厚生労働省が出している『医科点数表の解釈』といわれる分厚い書籍に記載のあるルールに則り請求する必要があり、その中で正確な保険請求を行う必要があります。

医療現場と保険請求は現実と乖離していることも少なく、その差異を埋めながら、正確な保険請求を行うことが必要となります。

それには医師とのコミュニケーションは欠かせません。



## 個人の信念

医師は私たちを保険請求のプロであるという認識を持って接してこられますので、私たちもそれに応えるべくしっかりと知識を持って業務に取り組み、時に医師とディスカッションを行い、正しい保険請求を行うことが求められます。

また、既存のやり方やルーティンが本当に必要なのか、効率の良い運用であるのかを常に意識し、業務改善に取り組んでいます。現在7年目になり、係の

中ではベテランとなりました。周囲の後輩を指導することもまた自分自身の仕事であるという自覚を持って業務に取り組んでいます。

### 後輩へのメッセージ

学生時代、大学生は自由だなという印象を受けていました。同時に自分なりのルールを作り、自らを律することが必要であると考えました。私が所属していた準硬式野球部は学生主体のチーム作りを行っており、チーム作りをしていく中で非常に良い経験をさせていただきました。自由な中にも自分をしっかり持って、部活動でもサークルでもアルバイトでも、何かに打ち込んできた人間は、社会に出た時にそれが役に立つことに気づきます。

社会に出ると自由な時間は限られますので、学業はもちろんのこと自分が好きなことに全力で取り組んで、積極的に学んでいってください。

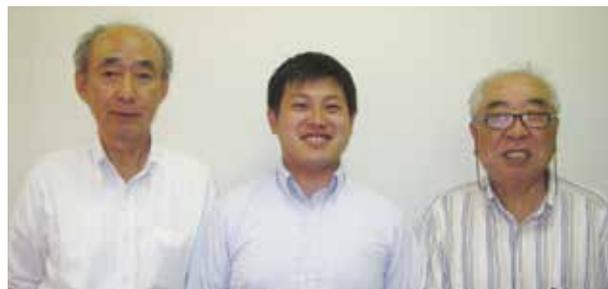
### 事業の変遷と現状

久留米大学は1928年に九州医学専門学校として創設以来、幾多の困難を乗り越え、社会の要請に応えつつ、今日の隆盛と充実を見るに至っています。「実践的人材の育成」と「地域文化への貢献」を基本理念として掲げ、6学部13学科、4大学院研究科、附設高等学校・中学校、臨床検査専門学校および2つの附属病院を擁する名実ともに西日本有数の総合大学として発展を続け、2018年に創立90周年を迎えました。久留米大学は、連綿と受け継がれ

てきた歴史の重みを踏まえながら、輝かしい未来へその歩みを進めていきます。

#### ■病院概要

外来診察	月曜日～金曜日(8:30～17:00)
外来休診	土日、国民の祝日・休日、 年末年始(12月29日～1月3日)、お盆(8月15日)
診療科	呼吸器・神経・膠原病内科、脳神経内科、 消化器内科、心臓・血管内科、腎臓内科、 内分泌代謝内科、血液・腫瘍内科、精神神経科、 小児科、外科、整形外科、形成外科・顎顔面外科、 脳神経外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産科、 婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、 歯科口腔医療センター
病院病床数	病棟数:23 許可病床数:計 1,018(一般 965、精神 53) (2018年11月1日現在)
大学病院スタッフ	医師:563名 看護師:1,096名(認定看護管理者1名、 専門看護師11名、認定看護師25名含む) その他職員(事務、技術、技能等):533名 (2018年10月1日現在)



土谷広報委員

浦寺氏

原口広報委員長

### 移動幹事会開催 (令和元年8月24日(土))

- 11:10 伊藤伝右衛門邸 見学
- ↓
- 12:20 幹事会  
(のがみプレジデントホテル)
- ↓
- 14:00 田川市石炭・歴史博物館  
見学

幹事会は、世利経済学部長にもご参加いただき行いました。

炭鉱王・伊藤伝右衛門と柳原白蓮が約10年間暮らした本邸は、説明を聞くと随所に建築技術や繊細で優美な

装飾を見ることができました。田川市石炭・歴史博物館では、ユネスコ世界記憶遺産の山本作兵衛コレクションと明治・大正・昭和の石炭産業の歴史を知ることができました。



日田支部

# 本年も盛り上りの 同窓会になった

日田支部長  
田中 進  
(昭和45年卒)



平成30年9月1日(土) 亀山亭ホテルにて

平成30年9月1日18時より亀山亭ホテルに於いて同窓会日田支部会を、久留米大学より薬師寺名誉学長、浅見経済学部長代理伊佐教授、同窓会より江頭会長、国武組織委員長、宮原顧問、医学部同窓会より大分県済生会支部長医学部同窓会日田支部長西田先生、済生会日田病院医院長林田先生、石井産婦人科医院長石井先生、五反田病院理事長五反田先生、みよしくりニック院長三好先生、原病院医院長原先生、商経同窓会福岡支部より平川支部長、代議員の笛田さん、久留米支部より大倉さん、筑邦銀行支部より金子上席執行役員本店営業部長、野口日田支店長、中鶴杷木支店長、文学部同窓会より林田副会長のご出席を頂いて、日田より会員が出席し31名にて開催致しました。

浅見経済学部長代理伊佐教授、薬師寺名誉学長より久留米大学の現状及び今後の方針についてお話しがあり、宮原同窓会顧問、江頭会長より同窓会活動の現状についてお話しがありました。医学部同窓会日田支部長で大分済生会支部長西田先生、済生会日田病院林田先生の挨拶、医学部、文学部同窓会役員の紹介、懇親会にはいり、筑邦銀行本店の金子上席執行役員本店営業部長の乾杯の音頭で懇親会へと移り本年も和気藹々の本当に素晴らしい懇親会が行われました。その後校歌斉唱、文学部同窓会副会長林田さんの万歳三唱、商経同窓会の南さんの打込みで、会は楽しい雰囲気にて無事終了する事ができました。来年は全学部、卒業生の一人でも多くの参加をお願い致します。

長崎支部

# 長崎支部便り

長崎支部監事  
星永 瑞輝  
(昭和45年卒)



ホテルニュー長崎「桃林」からの眺望

長崎支部では来る令和元年10月26日(土)正午より、ホテルニュー長崎13階「桃林」において総会・懇親会を開催します。

昨年の開催は試験的に昼間に行いましたが、ご出席頂いた過半数の方々のご希望により、今年度も昼間に開催させていただきます。

昨年の出席者は総勢26名。大学より伊藤商学部長、同窓会本部より江頭会長、国武組織委員長に

ご出席いただき、初参加の方も5名。和気あいあいとした雰囲気の中、学生時代の思い出話や近況報告に盛り上がり、時が経つのも束の間でした。

今後の長崎支部の活性化のため、若い世代や学部を問わず参加を呼びかけて参ります。お誘いあわせのうえ多数のご参加をお待ちいたしております。

問合せ：支部長 荒木 巧 (17回卒)  
090-9574-8510

山口支部

# 久留米大学同窓会 山口県支部総会

山口県支部長  
橋本 良一  
(昭和44年卒)



2019年1月26日(土)大学より浅見 良露 経済学部長、同窓会から江頭 義人 会長、平川 猛展 福岡支部長、崎山 和夫 北九州支部長、大石 孝一 北九州副支部長、石田 卓生 広島支部長の出席を頂き、商学部22名、経済学部3名、法学部2名、計27名にて開催いたしました。

集合写真は、終演後撮影いたしておりましたが、今年より開会前に撮影をすることに致し、全員素面での写真撮影となりました。

江頭同窓会会長より同窓会の近況報告があり引



平成31年1月26日(土) 東京第一ホテル下関にて

き続き、事業報告、事業計画の承認後、浅見経済学部長の大学の実情報告後、乾杯で懇親会に移り、このたび初参加者の中島三四郎さんが自己紹介、現況報告されました。

懐かしい思い出話などでおおいに盛り上がり親交を深めました。和気あいあいの内に時が過ぎ、校歌斉唱、続いて西中国信用金庫の中村裕之氏の万歳三唱で次回も元気で再会を誓い散会となりました。次回は、2020年1月25日に開催の計画をしており、予定に組み込んで頂ければ幸いです。

北九州支部

# 支部再発足9年、 学部を超えて同窓会を

北九州支部長  
崎山 和夫  
(昭和57年卒)



平成31年2月23日(土)北九州副支部長の経済学部卒植村さんの職場リーガーロイヤルホテル小倉において、大学から浅見経済学部長、本部より江頭会長、国武組織委員長、他に平川福岡支部長、橋本山口県支部長、坂口嘉飯支部長にご出席いただき、総勢31名で支部総会を開催いたしました。

本年、1期生の柏木武美先輩が、米寿をお迎えになり合わせてお祝い申し上げます。5回生の茂呂昌生初代支部長にもご出席いただきました。

再発足して来年は10年を迎えます。バトンを引き



平成31年2月23日(土) リーガーロイヤルホテル小倉にて

継ぎ、夏の納涼会、役員会、各支部との交流を先輩方のご指導の下、活動してまいります。

学部を超えて、声かけを行ってまいります。お元気な先輩方と、20代の卒業生と入り混じり、同窓の親交を深めております。現役の世代の方も多く、それぞれの仕事に、同窓生として役に立てばと思っております。

これから、再発足10年に向けて、支部役員同窓生が一つにまとまり活躍していける場になればと思っております。

東京支部

# 第17回 東京支部総会報告

東京支部幹事  
岩田 和宏  
(平成29年卒)



平成30年11月10日(土) アルカディア市ヶ谷にて

平成最後の東京支部第17回支部総会は、平成30年11月10日(土)に、同窓会本部より江頭会長、国武組織委員長、大木顧問、大学より伊藤商学部長をお迎えして、前年と同じアルカディア市ヶ谷にて開催いたしました。

今回は法学部および文学部の人にも声をかけ、前年より7名多い43名の参加者が集まりました。この参加人数は想定していなかった為、事前に予約していたアルカディア市ヶ谷の会場に収まるかどうか、始まる直前まで不安でした。しかしながら、会場は狭いながらも、多くの参加者で賑わい、特に若い人たちのグループではこれまで以上の盛り上がりのある会となりました。

総会は議事を経て、来賓ご挨拶に続いて懇親会となりました。懇親会では同窓会本部報告、アメフト部OB会・ゴルフ同好会活動報告等につき、恒例となりましたお楽しみ抽選会、炭鉱節踊りへ、そして応援部OB会員による応援演舞の流れから校歌斉唱となり盛会裏に終了致しました。

東京支部は久留米大学から一番遠く離れた支部ですが、鬼山支部長をはじめ団結力のあるメンバーで、元号の変わった次回の会はさらに参加人数が増えることを期待して役員一同、会場選びや企画など考えていきたいと思えます。

遠い場所から母校久留米大学の発展を応援しています!

大分支部

# 支部会開催報告

大分支部長  
渡邊 浩一  
(昭和55年卒)



令和元年6月29日(土) 大分センチュリーホテルにて

令和元年6月29日土曜日18時30分より、大分市府内町大分センチュリーホテルにて世利経済学部長、江頭同窓会長、国武組織委員長をお迎えし、大分支部会を開催いたしました。

当日は高山英一郎幹事司会のもと、まず、渡邊新支部長の開会挨拶の後、特別講演として佐藤樹一郎大分市長の講演、世利経済学部長・江頭同窓会長による来賓挨拶、前支部長の池永征司さんの乾杯のご発声により開会いたしました。今回は再発足後

4回目を迎え、和気藹々とした雰囲気の中、思い出話や近況報告に盛り上がり、あっという間に2時間が経過、締めとして国武組織委員長の万歳三唱によりお開きとなりました。

来年は6月27日(土)18:30より大分センチュリーホテルにて開催の予定です。同窓生全員にはご案内が出来ておりませんので、是非この会報を見て来年参加いただければと思います。また、今年も11月頃ゴルフ会も開催の予定です。

# 新しい体制で 船出しました!

市役所支部

久留米市役所支部長  
井上 益規  
(昭和58年卒)



令和元年7月31日(水) そう馬にて

久留米市役所支部は、本年4月、昨年まで副支部長だった私が、松藤支部長より引き継ぎ、新たな体制で船出しました。田中多門先輩をはじめ、松藤支部長などの先輩たちが勇退され、少し寂しくなりましたが、市議会議員の吉富巧先輩、新たに加いただいた市議会議員の松延洋一先輩をはじめ、市職員、久留米広域消防本部職員の計41人という体制で、今まで同様に交流を深めていきたいと考えています。

さて、久留米市は今年、市制施行130周年を迎えました。1889年(明治22年)に、全国の30市とともに

日本で最初の市として誕生しましたが、当時の人口は24,750人で、面積は2.66km<sup>2</sup>という規模だったそうです。それが今では、中核市として人口30万人を超え、面積は229.96km<sup>2</sup>と大きく発展しています。

また、母校である久留米大学も昨年、創立90周年を迎え、先達の輝かしい業績を継承しながら、地域と未来のかけ橋として大きな1歩を踏み出されました。

私たちも、歴史と伝統のある久留米大学の同窓生としての誇りを胸に、久留米市のさらなる発展に微力ながら力を尽くしていきたいと思っています。

# 第8回久留米大学 同窓会関西支部総会 報告

関西支部

関西支部長  
柴田 正昭  
(昭和52年卒)



平成30年10月28日(日) ヴィアール大阪にて

平成30年10月28日(日)大阪本町のヴィアールホテルにて第8回久留米大学同窓会関西支部総会を無事、開催することができました。卒業生10名が参集し、同窓会本部から江頭義人会長、国武勝征組織委員長、来賓として大学から浅見良露経済学部長にお越しいただきました。そして、今回は宮崎支部から二宮繁夫宮崎支部長様が駆けつけていただき賑やかな会になりました。江頭会長を始めとした来賓の方々の挨拶の後、関西支部、市来輝夫様の乾杯の音

頭で食事をしながら歓談いたしました。参加者全員の挨拶が終わり、カラオケ大会が始まり、大いに盛り上がりました。来年も元気で再会することを誓い終了いたしました。

会員の出席者は下記のとおりです。

39卒 和田博次、40年卒 雨河正樹、41年卒 二宮繁夫、45年卒 江崎勇次、45卒 千々岩義男、46卒 嘉村数広、46卒 市来輝夫、47卒 古賀純二、51卒 長谷川義人、52卒 柴田正昭

# 嘉飯支部会

嘉飯支部

嘉飯支部長  
坂口 栄喜  
(昭和46年卒)



平成30年10月27日(土) パドゥール・コトブキにて

平成30年10月27日(土)18時より、パドゥール・コトブキに於いて第18回嘉飯支部総会を開催しました。総会に於いて、その他の議事として、孫田副支部長から総会出席者5名という残念な結果となり、支部存続の危機になっているので、来年度の総会出席者を増す為の方策を考える必要がある旨の提案がありました。

総会終了後、懇親会に入り、伊藤商学部長から大

学の現状、江頭同窓会長より同窓会の活動状況及び本部の経費削減策として、支部会への本部出席者を出席人数によっては今後、出席しない支部がある事も検討されている旨、連絡がありました。松岡会員の乾杯の音頭で酒を酌み交わし、会員同士の現状報告等で親交を深めました。

最後に校歌斉唱、集合写真を撮って、今年度の総会を終了致しました。

# 久留米支部総会 を開催

久留米支部

久留米支部長  
岩松 康博  
(昭和46年卒)



平成31年2月16日(土) ホテルニュープラザにて

平成31年2月16日(土)2年ぶりの久留米支部総会、懇親会を文学部卒、法学部卒の方も多数出席され、総勢170数名の参加を賜り、ホテルニュープラザにて盛大に開催いたしました。

ご来賓に永田久留米大学理事長・学長、薬師寺名誉学長、久原理事、伊藤商学部長、浅見経済学部長、本部より江頭同窓会会長他出席を頂き大学創立90周年記念式典、大学の現況等の報告をいただき、続いて議事に移り会計報告、監査報告、役員改選等全て承認され、坂本前支部長より岩松新支部長(18回卒)にバトンタッチされました。懇親会は来賓の永田学長ご挨拶後、円卓を囲み学生時代を懐かしく思いながらの余興久大チアリーダーの力強い

演舞、又今回は同窓生14回生の村上敏彦氏(セミプロ)の見事なマジックショーがあり大いに盛り上がりました。

今回は統一地方選挙目前であり同窓生候補者3名に必勝祈願の為書きを贈呈、又今年議員を勇退された2名の方のメッセージ紹介、さらに今回は恩師の久留米大学名誉教授西土純一氏、同名誉教授駄田井正氏も出席され挨拶を頂きました。宴たけなわの中、次回への再会を誓い全員で校歌斉唱にてパーティーを閉じました。

今回も30名の運営委員の方々には前年10月よりの準備、チケット販売等ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

# 福岡支部総会

福岡支部

福岡支部幹事長  
朝久 岩生  
(昭和48年卒)



平成30年11月4日(日) 西鉄イン福岡にて

平成30年11月4日(日)16時30分から、支部総会を開催しました。日程は10月6日(土)で行うことをご案内しておりましたが、台風接近のため順延して行われました。ご案内が十分とはならず参加者が51名の参加(当初の3/4)で行われました。

総会は議案の会計報告が原会計(商32回生)より行われ、大場監事(商6回生)より監査結果が適正であった旨が報告され承認された。また4年に一回の役員改選では平川支部長が引き続き支部長を務めることとなりました。

懇親会も、司会の土谷副支部長(商17回生)のもとで進められ、江頭商経同窓会会長、伊藤商学部長

に祝辞を頂き、浅見経済学部長の乾杯で始めました。懇親会は和やかなうちに進み、恒例となったお楽しみ抽選会では、多くの景品を用意でき皆さんで楽しんでいただけたと思っております。

終盤は母校の校歌斉唱、神原法学部長の万歳三唱で、今後の久留米大学のさらなる発展と同窓生のご健康と益々のご活躍が期され閉会の言葉で、無事に終了しました。

また、福岡支部で作成しています「病・医院ガイドブック」の2018年版(久留米大学医学部出身の方が開業している病院)を出席者の方々に配布いたしましたのでご活用ください。

# 佐賀県支部総会 を開催

佐賀支部

佐賀県支部長  
大尾 正博  
(昭和47年卒)



平成31年3月9日(土) グランデはがくれにて

平成31年3月9日10時30分から、佐賀県支部総会を「グランデはがくれ」で開催。国武組織委員長、吉良文学部同窓会副会長、村井法学部同窓会理事を含め、33名の出席のもと開催致しました。特に今回、初めての参加者が7名ほどあり、総会出席者増や終身会員増への取り組み、県内各地域での組織づくり等の課題、決算報告、監査報告、ホームページの利用方法についての審議を行った。引き続き、佐賀市教育委員会文化振興課・西田様より「東名遺跡

について」をテーマに講演をしていただき、8,000年前の縄文時代の土器や貝塚、植物等の出土により当時の人々の生活状況について皆さん真剣に聞かれていた。午後より、記念写真を撮り、懇親会へと移った。円卓を囲んでの料理に舌づつみを打ちながら、懐かしい学生時代の想いで話に花を咲かせながら、親睦を深められていました。最後は「校歌斉唱」「万歳三唱」へと続き、来年3月21日に再会を誓い合って盛会のうちに散会することができました。

宮崎支部

# 宮崎支部同窓会

宮崎支部  
丸田 昇次  
(昭和61年卒)



令和元年7月6日(土) 東天閣にて

令和元年7月6日(土曜日)午後6時半より「東天閣」にて第18回宮崎支部同窓会が行われました。

4日は梅雨前線が種子島・屋久島付近まで南下して九州南部や熊本地方は記録的な大雨となり、開催が危ぶまれましたが、当日は天気も回復し、大学から伊藤商学部長、同窓会本部から江頭会長、国武組織委員長にお越しいただき総勢14名で盛大に開催されました。

二宮支部長の挨拶から始まり、伊藤商学部長から大学近況報告等あり懇親会が始まりました。最後に森

清造さんの「博多祝いうた」で締めいただきました。

宮崎支部同窓会として今回18回目になりました。前々回16回参加者32名、前回17回は16名、今回は前回に比べ1人少ない人数で毎年減少傾向にあります。このごろは若手会員にも恵まれず、同窓会としての活動もワンパターン化しているかもしれません。

次の宮崎支部長に林 孔裕さんが申し出ていただきました。これから林新支部長を中心に学校の教員等いろいろな分野に声かけをし、メンバーを増やし同窓会活動を活発にしたいところです。

鳥栖・三養基支部

# 支部設立10周年 祝賀会挙行

鳥栖・三養基支部長  
藤吉 嘉明  
(昭和33年卒)



平成31年3月10日(土) 光林飯店にて

支部設立10周年祝賀会3月10日、光林飯店にて挙行了いたしました。

冒頭 物故会員に対する黙祷をする。

来賓の有馬常務理事より支部設立10周年への祝辞、大学創立90周年事業寄付金の御礼、大学を取り巻く環境、平成31年度入試における好調な志願動向、新学部設置後の状況等の報告があり、同窓会各位からのより一層のご支援をお願いしたい旨のご挨拶を頂きました。同窓会顧問大木武彦様より祝辞の主旨、宇佐良則様から会長職の期に設問を頂きました事由には「理」を貫く人柄であるお先輩とご紹介を頂きました。支部顧問宇佐良則様は病氣治

療の為入院の事承りましたのでご報告させていただきます。ご全快をお祈り申し上げます。

祝宴に華を添え祝舞は、栗山カツ工様「黒田節」演技舞う姿に陶醉しました。第二祝奏は、ハーモニカ演奏近藤道孝様、名曲「荒城の月」他2曲、優しい音色を楽しみ童心に立ち返る名曲でありました。閉会の挨拶の中で、支部は10周年を節目として商経に新たに法学部会員に参加の申し入れをする。久留米大学100周年に向かってご発展を願い、会員各位のご家族様のご健勝のことお祈りします。次回総会は隔年に開催させていただきます。10周年祝賀会ご多数のご出席を賜り有難くお礼を申し上げます。

愛媛支部

# 第10回愛媛支部会

愛媛支部長  
池田 慎吾  
(昭和59年卒)



平成31年3月9日(土) 季節料理「貴州」にて

平成31年3月9日愛媛支部会を本部より江頭会長を迎えて開催しました。

会長より文系同窓会奨学金や人間健康学部等の大学近況報告等があり、山崎氏(10回卒)の乾杯により懇親会が始まりました。

四国愛媛の支部会も10回目は初参加3名を含め13名でしたが、過去からの参加者総数は41名となりました。今後は全6学部への広がりを目指していき

たいと思います。

開催にあたり世話人会の方にはお世話になりました。近藤氏(18回卒)には名簿の作成訂正等にご尽力を頂き感謝申し上げます。今回は他支部会と重なり校章幕が届かず残念でした。のぼり旗の大きさか、紙質のポスターでも各支部に配布されるよう提案致します。

都城支部

# 都城支部会だより

都城支部長  
吉原 昭郎  
(昭50年卒)



平成31年1月26日(土) メインホテルにて

平成31年1月26日(土)、都城市の中央通りに面した「メインホテル」において、第45回都城支部総会を開催いたしました。

今年は19日が大学入試センター試験とのことで26日に期日設定したのですが山口県支部と重なり、同窓会本部の国武組織委員長お一人が参加していただきました。

毎年宮崎支部から二宮支部長、丸田幹事に参加していただき花を添えていただいているところで、総会では議事の会計報告・活動報告そして支部長が松元氏より吉原への交代等が審議承認され懇親会へと進みました。本部挨拶で国武組織委員長から江頭会長のご伝言と大学の近況報告・同窓会活動の在り方などの話がありました。続いて全員で祝

杯を挙げ、会が和やかに始まりました。

昨年に引き続き第2回なんこ大会を実施しました。結果は地元の竹田氏が優勝し賞状と副賞が贈られました。その後出席者全員で記念の集合写真を撮り、校歌斉唱の後宮崎支部の二宮支部長から一本締めのご発声を受け和気藹々のなか無事終了お開きとなりましたが、その後もまた全員で二次会に繰り出すこととなりました。

今年度も明けて1月11日土曜日18時30分より都城グリーンホテルで開催予定ですので支部会員の皆様にはなにとぞご参加くださいますようお願いいたします。詳しくは下記までお問い合わせください。

問合せ：支部長 吉原昭郎(昭50年卒)

090-3463-7796

福岡銀行支部

# 「福久会」開催

福岡銀行支部長  
園田 静児  
(平成4年卒)



令和元年7月19日(金) 福岡クラブにて

我々福岡銀行支部は、現役行員74名で構成され行内でも有数の同窓会規模を誇っています。

今年度の新入行員採用は残念ながらありませんでしたが、久留米大学同窓会福岡支部の平川支部長をお迎えし、令和元年7月19日(金)19時から銀行施設である福岡クラブに於いて「福久会」を開催しました。

それぞれの職場とは違い、大学の先輩後輩という特別な関係で膝を付け合わせ、酒を酌み交わし、学生時代の思い出話や仕事の身の上相談など賑やかに開催することができました。

引き続き職域支部の親交を重ね、励ましたり支えたりできる関係を醸成して参ります。

平川支部長、ご参加いただき有難うございました。

# 親睦を深め 地域貢献を目指す!

筑邦銀行支部

筑邦銀行支部幹事  
星野 博文  
(平成3年卒)



令和元年7月12日(金) ハイネスホテル久留米にて

私たち筑邦銀行支部は、母校の所在地である久留米市に事務局を置く職域支部です。毎年支部の同窓会を企画しており、2019年も7月12日にハイネスホテル久留米にて開催しました。本年は新入会員5名を迎え、会員数は84名となりました。昭和55年卒業生から平成31年卒業生までと会員の年代も幅が広い当支部ですが、年代に関係なく、職域支部な

らではの話題で盛り上がりました。私どもの筑邦銀行は、地域を興し、ともに成長、発展する銀行をスローガンとしております。これからも支部会員の親睦を深め、活気ある支部活動を通じて、久留米大学や地域のみなさまのお役に立てるよう尽力してまいります。

お知らせ

## 全国支部長会

○日時 令和元年11月30日(土) 15時より  
○場所 ハイネスホテル久留米  
※詳細は、支部長宛郵便でご案内致します。

# 学内近況

学内支部

学内支部長  
江口 訓史  
(昭和63年卒)



久留米大学には約3,500人の教職員が在職しており、内、約100人が文系学部 of 卒業生です。今年度も卒業生が事務職員として採用され、6月21日

(金)に月光浴(久留米市東町)にて懇親会を行いました。江頭同窓会長、有馬常務理事ご臨席のもと新会員3名の歓迎、会員相互の親睦を深めることができました。

今年度も入学式、講義実習、定期試験、オープンキャンパスが終わり、残り半年となります。キャンパス整備も落ち着き、新しくなった御井学舎、諸先輩方に懐かしんでいただける風景もまだまだ残っていますので、久留米にお越しの際は、是非お立ち寄りください。

※あのお祭: 11月2~3日開催予定(1日は前夜祭)

## 令和元年度支部会開催予定

支 部	開 催 日	場 所	支 部 長
関西	令和元年10月20日(日)	ヴィアール大阪	柴田正昭
長崎	令和元年10月26日(土)	ホテルニュー長崎 桃林	荒木 巧
嘉飯	令和元年10月26日(土)	パドゥール・コトブキ	坂口栄喜
東京	令和元年11月16日(土)	アルカディア市ヶ谷	鬼山 力
都城	令和2年 1月11日(土)	都城グリーンホテル	吉原昭郎
山口県	令和2年 1月25日(土)	未定	橋本良一
佐賀県	令和2年 3月21日(土)	グランデはがくれ	大尾正博

※開催は変わることもあります。

※ホームページの支部会開催予定 (<http://www2.ktarn.or.jp/~syoukei/shibu.html>) もあわせてご覧ください。

## 平成30年度 全国支部長会



平成30年12月1日(土) ハイネスホテルにて

## ～私の近況～

### 私の近況

# 人生折り返し まだまだこれから!

相良 泰志(平成4年卒)



大好きなマーロン・ブランド

大学入学のときに決めていた事。それは好きなスポーツをやって楽しい大学生活を送る事でした。それまで、まともに部活動をした事がなかった私が、幸いにもボクシングに出会い、そこで仲間達と共に練習に熱中できた事は私にとって宝のような経験です。入部した時は練習のあまりのきつさに4年間で試合に1勝でもすれば御の字だと思っていたら、仲間達の大活躍に刺激を受け、九州大会3位の成績をおさめる事ができました。それは私にとって大きな自信となりました。

卒業して27年、50歳を迎えました。現在は実家の3代目としてLPガス店を営んでおります。店も落ち着いてきたので、何か趣味でも持ちたいなと思って始めたのが写

真のように見える鉛筆画。1日1時間程ですが、毎晩寝る前コツコツ描いており

ます。昨年は地元田主丸で初の個展をする事ができました。学生時代のボクシングのように好きな事にとことんはまってやるという訳にはいきませんが、出来る範囲で1枚1枚作品を作り続けていこうと考えています。そして何よりも楽しんで描くことを一番念頭に置いて今後の人生を更に充実させられたらいいなと思う次第です。

### 私の近況

# 「日々 成長」

吉富 俊一(平成17年卒)



平成17年に商学部を卒業し、2年間の講師経験を経て教諭として13年目を迎えています。現在は母校である唐津商業高校で学年主任を務めております。授業では主に財務会計や原価計算、情報処理といった学生時代で学んだ知識や技術を子どもたちの指導に還元しています。PRになりますが、本校生徒は礼儀正しく、何事にも全力を尽くすことができます。この会報を通して、少しでも本校の魅力を知ってもらえれば幸いです。

実際に教壇に立ち、悩む日も多々あることは確かですが、時代の変化に向き合い、日々悪戦苦闘しながらも勉

強しているところです。本校にも久留米大学卒業の方は数多く活躍されており、改めて、久留米大学で学んで良かったと実感しております。今後は新たな教員の卵の育成と地元を始め、各方面で活躍できる人材を育てていきたいと思っております。また、部活動でも運良く野球部の監督を務めさせていただいております。平成28年に縁あって甲子園出場を果たすことができました。二度目の甲子園出場を目指しながら、子どもたちと練習に取り組んでいます。

## KUC愛好会だより

コーラス愛好会 中島 邦彦(昭和41年卒)



久留米大学コーラス愛好会(KUC)の平成最後の集いを2月26日地元久留

米のブリヂストンクラブで開催しました。参加者は16名でしたが、卒業後、現役の合唱団員として活躍されている方々もおられ、すばらしい歌声で合唱曲や民謡を披露していただき、なごやかな雰囲気の中で楽しいひと時を過ごしました。

又、近々後期高齢者になる方から記念に宮崎名物「たまたま」という「きんかん」の差入れがあり、その場で試食させていただき少し早目のハッピーバースデーとなりました。

当会場は、昔、ブリヂストン会社の迎賓館としての歴史がある建物だときいております。私たちが宿泊した翌日は休館日で朝食なしで、チェックアウトのときは裏階段から退出し、部屋の鍵は各室に置いたまま退出して下さいと言われて、後のことが気にかかりながら久留米を去った同窓会でした。

一寸と変わった体験をした一日でした。

## 応援団指導部OB会

応援団指導部OB 朝久 岩生(昭和48年卒)



押忍、久留米大学応援団指導部OB会が令和元年6月15日(土)18時から西鉄久留米駅東口にある

ハイネスホテル久留米で20名の参加のもと行われた。

今回も20代団長木原茂利(商22回生)、24代団長西頼圭輔(27回生)、副団长江口晋仙(商27回生)の世話により実現しました。会は9代団長梅野徹臣(商10回生)の開会の辞で、語り継がれている團発足の経緯、時代背景などを交え運動部部活への応援をはじめとした活動成り行きなど語っていただきました。宴たけなわでは、当時応援団は運動部活動の応援のほか応援団の心意気を演舞に取り入れ謳い踊っていましたが、薄ら覚えと足腰の衰えを感じながら演舞を披露してくれる者もいました。また羽織袴で今練習中の日本舞踊、北島三郎「祭り」を19代副団長権藤文秀(商21回生)が披露してくれました。会は2次会へと流れ10代リーダー長の高松清廉(商12回生)のエールで締めくくられました。押忍

## 原田康平部長退職記念祝賀会

ラグビー部監督 三重野 貴文(昭和59年卒)



平成31年3月2日、久留米ホテルマリターレ創世に於いて、久留米大学ラグビー部OB会(御井学舎)主催による、原田康平部長の退職記念祝賀会を開催致しました。

原田先生には、平成7年度から副部長として、11年度からは部長として、24年間の長きに渡りラグビー部をサポートして頂きました。この間にたくさんの試合観戦、又OB会行事には常に出席して頂き、現役学生へのエール、卒業生へのアドバイスなど、多くのご支援を賜りました。

祝賀会には、陰ながら長年サポートして頂きました奥様にもご同席頂きました。関東、四国など遠方からのOBの参加もあり、思い出のスピーチ、記念品、花束の贈呈などで大いに盛り上がりました。原田先生からは、今後も久留米大学ラグビー部を恒久的に応援していくとの言葉頂きました事を含めて、祝賀会のご報告と致します。

## 第47回会計学研究部OB会開催

OB会長 向山 将貴(平成8年卒)



平成30年11月10日(土)午後6時より「鳩屋別館」にて第47回久留米大学会計学研究部OB会を開催致しました。OB会を毎年11

月に開催しておりまして、今回はOB22名と現役学生3名と計25名の参加でした。

総会では、OB会50周年に向けてなどについて話し合いました。又、現役学生の方よりプロジェクターを使ったクラブの活動報告があり、懇親会では、学生・OBの自己紹介や恒例の60歳の還暦を迎えられた4人の方へ赤いチャンピオン授与等で大いに盛り上がりました。最後は、中村途明さん(昭和52年卒)の締めめの音頭でOB会を終了しました。

2年後の第50回の記念OB会に向けて、今年の第48回OB愛への多くの参加をお願い致します。期日:令和元年11月16日(土)、場所は未定です。

お問い合わせ先

坂本真司(昭58年卒)携帯Tel:090-1178-2692

向山将貴(平成8年卒)携帯Tel:090-2582-9532

E-mail:chitose-mukaiyama@royal.ocn.ne.jp

# 弓道部『第6回御井練成会』開催!!

第17代OB 富安 隆一(昭和55年卒)



弓道部では「御井練成会」と称し、毎年OB・OGによる集いを開催しており、昨年は11月4日(日曜日)にOB・OGならびに弓道部顧問の土肥勲嗣先生(法学部国際

政治学科)および歴代監督の先生方ご来賓の下、総合スポーツ施設として昨年竣工したばかりの久留米アリーナ(久留米市東榎原町)の弓道場におきまして盛大に開催いたしました。

午前中は、歴代監督で現在久留米弓道連盟会長の弓道教士七段水田英敏先生の「矢渡し」により競射会の幕が開けました。競射会ではOBも現役弓道部員らとともに的に向かい、気合伯仲した熱戦が繰り広げられました。OBの中には卒業後、四十数年ぶりに弓を握られた方もおられましたが、ブランクを感じさせない行射と的中を披露されました。

午後は、参加者全員で輪になって昼食会を行い、現役弓道部員らによる自己紹介をはじめ、OBによる在学当時の懐かしい思い出話や近況報告などで会話が弾み、盛会のうちに終了いたしました。

今後も開催を予定していますのでOB・OGの皆様方は是非ともご参集ください。なお、弓道部ご出身のOB・OGの方で、「御井練成会」のご案内状がお手元へ届いていない方は、以下までご連絡ください。

御井練成会事務局連絡先

世話人 富安隆一(昭和55年卒)携帯 090-7982-3006

# ボクシング部OB会

監督・OB会事務局長 笛田 靖彦(平成元年卒)



令和元年7月13日(土)12時よりハynesホテル久留米に於いて第14回久留米大学ボクシング部OB会が開催されました。

このOB会には、商学部1回卒 石橋茂氏(ボクシング部創設者)、医学部2回卒 中山和道氏(久留米大学名誉教授)、商学部4回卒 田中禮次郎氏 音楽プロデューサー(元キングレコードディレクター)、同期の瓊田千之氏 真宗大谷派栄恩寺住職(ボクシング部OB会長)、商学部11回卒 宮原岩政氏(前久留米大学常務理事・元全国都道府県議会議長)をはじめ総勢17名の出席者のもと盛大に開催されました。久留米大学校歌を会の最後に合唱し、来年の再開を誓い合いました。今回ご欠席 医1回卒 楠原正一氏(前久留米大学医学部連合同窓会長)、商1回卒 柏木武美氏(株)柏木興産(元行橋市長)、医4回卒 薬師寺道明氏(久留米大学名誉学学長)

## 第16回春季

### 久留米・県南・八女支部合同親睦ゴルフ

国武 勝征(昭和42年卒)



平成31年4月4日(木)八女太陽ゴルフ倶楽部にて3組12名の参加でした。

優勝は辻改治(商15回生)で2位は青木敏浩(商15回生)そして3位が原口彰(商14回生)。次回の秋季は11月の予定です。

## 第66回

### 久留米OB会ゴルフ開催

朝久 岩生(昭和48年卒)



令和元年5月17日(金)福岡支部ゴルフコンペを玄海ゴルフクラブで行いました。参加16名で優勝は李憲章氏(商10回生)、準優勝は青木敏浩氏(商15回生)でした。次回は10月前後を予定しております。

## 第22回

### 東京支部ゴルフ同好会コンペ開催報告

山浦 秀憲(昭和48年卒)



第22回ゴルフコンペを平成30年10月17日(水)玉川カントリーGCにて開催致しました。10名が参加し、山口和幸氏(商18回生)が春秋連続優勝に輝かれました。

第23回コンペは平成31年4月10日(水)アドニス小川カントリー倶楽部に集合したところ、季節外れの積雪でコースがクローズ。再コンペを令和元年5月21日(火)唐沢ゴルフ倶楽部で開催するも豪雨と棄権者もあり不成立。3度目の企画を10月15日(火)開催予定です。

## 入 試 日 程

### 文系学部(文学部、人間健康学部、法学部、経済学部、商学部)

入試区分	募集学部・学科	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学時納入金の納入および入学手続書類提出締切日(必着)
総合型選抜(AO入試)	文学部、人間健康学部(総合子ども学科)、法学部、経済学部、商学部	8月26日(月) ▼ 9月5日(木)	— 10月5日(土)	— 本学(御井)	9月20日(金) 10月16日(水)	11月26日(火)
スポーツ特別推薦入試	人間健康学部(スポーツ医科学科)	9月9日(月) ▼ 9月18日(水)	10月5日(土) 11月16日(土)	本学(御井)	10月16日(水) 11月25日(月)	12月19日(木)
指定校推薦入試	文学部、人間健康学部(総合子ども学科)、法学部、経済学部、商学部	11月1日(金) ▼ 11月6日(水)	11月16日(土)	本学(御井)	11月25日(月)	入学申込締切 2月28日(金) 入学手続締切 3月23日(月)
一般推薦入試	文学部、人間健康学部、法学部、経済学部、商学部	1月4日(土) ▼ 1月20日(月)	2月1日(土) 2月9日(日) 2月10日(月)	本学(御井)、山口、北九州、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、広島(2月10日のみ)、沖縄(2月10日のみ)	2月20日(木)	
一般入試(前期)	文学部、人間健康学部、法学部、経済学部、商学部	1月4日(土) ▼ 1月20日(月)	2月1日(土) 2月9日(日) 2月10日(月)	本学(御井)、山口、北九州、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、広島(2月10日のみ)、沖縄(2月10日のみ)	2月20日(木)	入学申込締切 2月28日(金) 入学手続締切 3月23日(月)
センタープラス入試	文学部、人間健康学部、法学部、経済学部、商学部	1月4日(土) ▼ 1月20日(月)	大学入試センター試験 1月18日(土) 1月19日(日)	—	2月20日(木)	
大学入試センター試験利用入試	文学部、人間健康学部、法学部、経済学部、商学部	1月4日(土) ▼ 1月27日(月) 2月17日(月) 3月5日(木)	—	—	3月16日(月)	3月23日(月)
一般入試(後期)	文学部、人間健康学部、法学部、経済学部、商学部	2月17日(月) ▼ 2月27日(木)	3月9日(月)	—	3月16日(月)	3月23日(月)
社会人入試 帰国子女入試	文学部、人間健康学部、法学部、経済学部、商学部	11月1日(金) ▼ 11月6日(水)	11月16日(土)	—	11月25日(月)に通知する	入学申込締切 12月19日(木) 入学手続締切 1月23日(木)
留学生入試	文学部、人間健康学部(総合子ども学科)、法学部、経済学部、商学部	12月2日(月) ▼ 12月9日(月)	2月7日(金)	本学(御井)	2月20日(木)に通知する	入学申込締切 2月28日(金) 入学手続締切 3月23日(月)
		2月20日(木) ▼ 2月27日(木)	3月9日(月)		3月16日(月)に通知する	3月23日(月)
編入学入試	文学部、法学部、経済学部、商学部	1月6日(月) ▼ 1月10日(金)	2月7日(金)	—	2月20日(木)に通知する	入学申込締切 2月28日(金) 入学手続締切 3月23日(月)
専攻科入試	文学専攻科、法学専攻科、経済学専攻科、商学専攻科	2月20日(木) ▼ 2月27日(木)	3月9日(月)	—	3月16日(月)に通知する	3月23日(月)

※入学申込締切=入学金の納入締切 入学手続締切=入学時納入金から入学金を差引いた金額の納入および入学手続書類の提出  
申込締切と手続締切が分かれていない入試区分は一括納入となります。  
※編入学試験には、法学部の「編入学試験(社会人・学士入学)」も含まれます。 ※地方会場は決定次第、久留米大学入試情報サイトでお知らせします。

### 医学部(医学科)

入試区分	募集学部・学科	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学時納入金の納入および入学手続書類提出締切日(必着)
一般推薦入試	医学部(医学科)	11月1日(金) ▼ 11月6日(水)	11月16日(土)	本学(旭町)	11月25日(月)	12月19日(木)
地域枠推薦入試		12月16日(月) ▼ 1月15日(水)	2月1日(土)*1	本学(御井)、東京	2月7日(金)	入学申込締切 2月28日(金) 入学手続締切 3月23日(月)
福岡県特別枠推薦入試			2月13日(木)	本学(御井)	2月20日(木)	
一般入試(前期)		2月8日(土) ▼ 2月26日(水)	3月8日(日)*2	本学(御井)	3月12日(木)	3月26日(木)
一般入試(後期)	3月16日(月)	本学(旭町)	3月19日(木)			

※入学申込締切=入学金の納入締切および入学手続書類の提出 入学手続締切=入学時納入金から入学金を差引いた金額の納入および入学手続書類の提出  
申込締切と手続締切が分かれていない入試区分は一括納入となります。  
※1 医学部医学科の一般入試(前期)解答例閲覧は2020年2月4日(火)13:00頃を予定(詳細はホームページにて告知します)  
※2 医学部医学科の一般入試(後期)解答例閲覧は2020年3月11日(水)13:00頃を予定(詳細はホームページにて告知します)

### 医学部(看護学科)

入試区分	募集学部・学科	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学時納入金の納入および入学手続書類提出締切日(必着)
一般推薦入試	医学部(看護学科)	11月1日(金) ▼ 11月6日(水)	11月16日(土)	本学(旭町)	11月25日(月)	12月19日(木)
一般入試(前期)		12月16日(月) ▼ 1月15日(水)	2月5日(水)	本学(御井)、熊本、大分、鹿児島	2月20日(木)	入学申込締切 2月28日(金) 入学手続締切 3月24日(火)
センタープラス入試		12月16日(月) ▼ 1月27日(月)	大学入試センター試験 1月18日(土) 1月19日(日)	—	2月20日(木)	
大学入試センター試験利用入試		2月17日(月) ▼ 3月5日(木)	—	—	3月16日(月)	3月24日(火)

※入学申込締切=入学金の納入締切および入学手続書類の提出 入学手続締切=入学時納入金から入学金を差引いた金額の納入および入学手続書類の提出  
申込締切と手続締切が分かれていない入試区分は一括納入となります。

入試に関する問い合わせ先 **久留米大学入試課** 入試情報サイト <https://www.kurume-u.ac.jp/site/nyuushi/>  
TEL 0942-44-2160 FAX 0942-43-4539 nyuushi@kurume-u.ac.jp

## 就職部からのお願い

久留米大学就職部では、文系学部を卒業後3年以内の卒業生に対して就業状況等に関する卒後調査を実施いたします。記名式の調査となることから回答については任意となりますが、何卒ご協力くださいますようお願いいたします。詳細は下のQRコードを読み取りご回答ください。

〈問合せ〉

就職・キャリア支援課(担当:山本)

TEL 0942-44-6413



年1回の医・商経・法・文学部同窓会会長・副会長による  
連合同窓会運営委員会が開催された。



令和元年7月22日 蔵屋敷そう馬わがらにて

## 会費納入のお願い

終身会費 15,000円(1回限り)

年会費 3,000円(年1回)

※どちらかお選びの上、郵便局からお支払い下さい。

卒業生も約30,000名の陣容となり会報にもかなりの費用を要します。このところを十分にご理解いただき、会費を納入くださいますようお願いいたします。

なお、お振込みの際は同封の払込用紙(一般会員の方のみ同封)をご利用下さい。住所、氏名、電話番号のみでは確認できない場合がありますので、おわかりの範囲で卒業(年、学部学科)、学籍番号、会員番号、所属支部、勤務先をご記入下さい。

## 住所連絡のお願い

住所等お変わりの方はお忘れなく同窓会本部までお知らせください。電話、ファックス、メールをご利用ください。

TEL 0942-44-2432 FAX 0942-44-3846

URL <http://www2.ktarn.or.jp/~syoukei/>

メールアドレス syoukei@ktarn.or.jp

## 編集後記

- 今年の7月に続いて8月も九州北部(久留米近郊・佐賀)の記録的な大雨で冠水による床上浸水、床下浸水、車両水没など被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。
- スポーツの秋を迎え、熱中症対策もしっかり対応されて健康的な日々をお過ごしください。

(広報委員長 原口彰)



発行所 久留米大学商経同窓会

〒839-8502 久留米市御井町1635

責任者 同窓会会長 江頭 義人

編集人 広報委員長 原口 彰

TEL.0942-44-2432

FAX.0942-44-3846

E-mail syoukei@ktarn.or.jp

<http://www2.ktarn.or.jp/~syoukei/>

